

敷地の中はどうなってるの？

中をのぞいてみよう！

やなせみどりの丘には、最終処分場や、ごみを埋め立てている様子が見学者スペース、緑地エリアや雨水調整池などがあります。
こどもたちと一緒に各スポットを紹介します♪



▲詳細は市HPをご覧ください。



屋根付きは県内初！

最終処分場

運ばれてきた焼却灰などは、ここに埋め立てられていきます。地上から約10mの深さがあり、埋め立てられる容量は約130,000m³。これは25mプール約310杯分になります。

また、県内初となる屋根と壁で覆われた被覆施設となっていて、天候の影響を受けず、埋め立て物の飛散やにおい、作業音などが外に出ることを防いでいます。

◎稼働後はここに入ることはできません。

天井がたか〜い！

ここからだ
広さがよく分かる！



見学者スペース

焼却灰などが埋め立てられていく様子を、ここから見るができます。見学者スペースの利用については、市HPをご覧ください。

芝生もちい〜



緑地エリア※

3つのエリアに分かれており、皆さんが利用できる憩いの場として、「多目的広場」、遊具がある「わんぱく広場」、生き物とふれあえる「生物多様性体験広場」があります。豊かな植物が施設を囲うことで、周辺環境との調和を図っています。

24時間開放しており、10月8日(休)午前9時から利用できます♪



※生物多様性の保全への貢献度を評価するJHEP認証にて、認証ランク「A+」を取得しました。

まちの未来のためにできることは？

やなせみどりの丘について、お分かりいただけたでしょうか。最終処分場は、普段の生活であまり関わる事が無いかもしれませんが、私たちの生活に欠かせない施設です。

本特集を読んで、ごみを減らすにはどうしたらよいか、ごみを減らすための行動とは何なのかを考えるきっかけにしてみてください。

ごみを減らすために
何ができるか
みんなで考えよう♪

